

資料4

資料 4－1～資料 4－4

岩手県食育推進計画

平成 28 年度から令和 2 年度における食の安全安心確保のための施策評価について

岩手県食育推進計画に関する施策の評価（平成 28 年度～令和 2 年度）

I 主要指標の達成状況

施策区分Ⅰ「望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進」の主要指標である「朝食を毎日食べる子どもの割合」については、期間全体を通じて実績値が基準年を下回る学年、年度が多かった。
「肥満傾向のある割合」では、小学校 5 年生で基準年に比べて、ほとんどの年度で改善が見られたものの、中学校 2 年生、高校 2 年生では、ほとんどの年度で基準年を下回る結果となった。
施策区分Ⅱ、Ⅲ、Ⅳにおいては、3 指標全てで目標達成あるいは基準年からの改善が確認された。

- ・ 年度ごとの目標達成度：「◎:目標値達成」、「○:基準時より改善」、「△:基準時と変化なし」、「▼:基準時より悪化」
- ・ 期間全体の達成度：【単年度指標】年度ごとの評価のうち、最も多い達成度、【累計指標】最終年度の達成度と同じ

II 主要指標の状況

I 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

主要指標	基準年度 (H26)		H28	H29	H30	R1	R2	期間全体の達成度
1 朝食を毎日食べる子どもの割合 【小学校4年生】	97.4%	実績	96.9	96.5	96.5	96.6	96.2	▼
		目標	100%に近づける	100%に近づける	100%に近づける	100%に近づける	100%に近づける	
		達成度	▼	▼	▼	▼	▼	
【中学校3年生】	92.0%	実績	91.7	91.2	89.1	89.6	90.3	▼
		目標	100%に近づける	100%に近づける	100%に近づける	100%に近づける	100%に近づける	
		達成度	▼	▼	▼	▼	▼	
【高校3年生】	88.0%	実績	86.9	86.0	84.7	84.9	83.6	▼
		目標	100%に近づける	100%に近づける	100%に近づける	100%に近づける	100%に近づける	
		達成度	▼	▼	▼	▼	▼	

2 肥満傾向のある割合 【小学校5年生】	13.7%	実績	12.8	12.6	12.6	13.5	14.4	○
		目標	10.6	10.6	10.6	10.6	10.6	
		達成度	○	○	○	○	▼	
【中学校2年生】	10.6%	実績	10.4	11.2	11.1	12.0	12.0	▼
		目標	9.7	9.7	9.7	9.7	9.7	
		達成度	○	▼	▼	▼	▼	
【高校2年生】	11.6%	実績	11.4	11.7	11.2	12.2	12.3	▼
		目標	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	
		達成度	△	▼	△	▼	▼	

II 食の安全安心を支える食育の推進

主要指標	基準年度 (H26)	141回	H28	H29	H30	R1	R2	期間全体 の達成度
			実績	193	167	166	152	48
食の安全安心に関する出前講座等の実施回数			目標	150	150	150	150	○※
			達成度	◎	◎	◎	◎	▼

※4か年で目標値達成「◎」のため、概ね達成「○」とするもの

III 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

主要指標	基準年度 (H26)	13市町村	H28	H29	H30	R1	R2	期間全体 の達成度
			実績	20	24	27	29	31
地産地消促進計画を策定している市町村の数			目標	25	25	25	25	◎
			達成度	○	○	◎	◎	◎

IV 地域に根ざした食育の推進

主要指標	基準年度 (H26)		H28	H29	H30	R1	R2	期間全体 の達成度
市町村食育推進計画を策定して いる割合	93.9%	実績	97.0	97.0	100	100	100	◎
		目標	100	100	100	100	100	
		達成度	○	○	◎	◎	◎	

III 参考指標の状況

I 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

	参考指標	基準年度 (H26)	H28	H29	H30	R1	R2
1	3歳児のむし歯のある者の割合	24.3% (H25)	22.4 (H27)	—	18.7	—	集計中
2	12歳児の（永久歯）むし歯のある者の割合	32.1%	32.9	—	39.0	—	27.5
3	60歳代における咀嚼良好者の割合	71.6% (H24)	72.4	—	—	—	次回調査 R3年度
4	食に関する指導の全体計画作成校【小学校】 【中学校】 【高校】	99.1% 94.0% 20.8%	99.1 95.1 39.5	100 100 47.4	100 100 52.0	100 99.4 52.6	100 99.3 53.3
5	肥満防止取組実施状況 【小学校】 【中学校】 【高校】	98.5% 75.0% 48.1%	98.8 93.3 94.7	100 95.7 94.7	100 97.5 87.5	99.7 93.0 79.3	99.7 94.7 88.9
6	教育振興運動の実践区による食育活動数	155 実践 区	191	185	167	186	143

7	主食・主菜・副菜をほとんど毎日揃えて食べる者の割合 (20 歳以上)	68.8% (H24)	63.4	—	—	—	次回調査 R3 年度
8	食塩摂取量の平均値 (20 歳以上)	11.8 g (H24)	10.0	—	—	—	次回調査 R3 年度
9	毎日最低一食は家族や友人などと一緒に 30 分以上かけて食事をしている者の割合 (20 歳以上)	65.3% (H24)	60.2	—	—	—	次回調査 R3 年度
10	栄養成分表示店店舗数	126 店舗	187	226	261	275	288

II 食の安全安心を支える食育の推進

	参考指標	基準年度 (H26)	H28	H29	H30	R1	R2
1	食の安全安心に関するリスクコミュニケーション開催回数	4回	5	4	4	5	4

III 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

	参考指標	基準年度 (H26)	H28	H29	H30	R1	R2
1	農林漁業体験インストラクター等の実施支援						
	【実施件数】	140 件	113	102	108	132	96
	【参加人数】	15,130 人	20,873	24,140	20,859	25,304	9,230

2	学校給食における ※1 県産食材の利用割合（食材数ベース） 国産食材の利用割合（食材数ベース）	38.5%	21.7	36.6	27.8	23.2	調査中止
		87.5%	75.5	84.5	77.3	85.9	調査中止
3	給食施設での県産食材利用率（重量ベース） ※2	42.0%	58.6	—	61.0	—	次回調査 R3.12月
4	食の匠 認定数（累計）	246 人	259	267	273	277	286
	伝承活動開催回数	33 回	30	23	37	30	16
5	3 R 推進キャラクターエコロルの普及啓発 活動数	38 回	33	34	34	32	6

※1：県内の学校をランダムに5施設抽出し、年2回（各5日間）実施する調査。

※2：県内の給食施設で、2年に1回（毎月の1週間）給食に利用した食材の全量に占める県産食材の割合を調査するもの。

IV 地域に根ざした食育の推進

	参考指標	基準年度 (H26)	H28	H29	H30	R1	R2
1	食育の取組を行っている市町村の割合	100%	100	100	100	100	100
2	食育普及啓発キャラバン実施回数	5回	5	5	5	5	0

主要指標 I-1 朝食を毎日食べる子どもの割合

	小学校4年生	中学校3年生	高校3年生
基準年度(H26)	97.4%	92.0%	88.0%
目標年度(R2)	100%に近づける		

◎:目標値達成、○:基準時より改善
△:基準時と変化なし、▼:基準時より悪化

計画期間全体の評価：最頻出の達成度

年度	H28	H29	H30	R1	R2
小学校 4年生	実績	96.9%	96.5%	96.6%	96.2%
	目標	100%に近づける			
	達成度	▼	▼	▼	▼
中学校 3年生	実績	91.7%	91.2%	89.1%	89.6%
	目標	100%に近づける			
	達成度	▼	▼	▼	▼
高校 3年生	実績	86.9%	86.0%	84.7%	84.9%
	目標	100%に近づける			
	達成度	▼	▼	▼	▼

R2実績の評価	中3のみ前年度から若干の改善がみられたが、全ての学年において基準年度を下回った。		
計画期間全体の評価	小学校4年生：▼	新計画における指標の扱い	継続
	中学校3年生：▼		
	高校3年生：▼		
今後の方向性	引き続き、学校、行政、関係機関、食生活改善推進員等による、食育教室、各種健康教室を通じ、啓発に取り組む。		
担当課等	健康国保課		

主要指標 I-2 肥満傾向のある割合

	小学校5年生	中学校2年生	高校2年生
基準年度(H26)	13.7%	10.6%	11.6%
目標年度 (R2)	10.6%	9.7%	10.7%

◎:目標値達成、○:基準時より改善
△:基準時と変化なし、▼:基準時より悪化

計画期間全体の評価：最頻出の達成度

年度	H28	H29	H30	R1	R2
小学校 5年生	実績	12.8%	12.6%	13.5%	14.4%
	目標	10.6%	10.6%	10.6%	10.6%
	達成度	○	○	○	▼
中学校 2年生	実績	10.4%	11.2%	11.1%	12.0%
	目標	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%
	達成度	○	▼	▼	▼
高校 2年生	実績	11.4%	11.7%	11.2%	12.2%
	目標	10.7%	10.7%	10.7%	10.7%
	達成度	△	▼	△	▼

R2実績の評価	教職員を対象とした研究大会等において、肥満予防に向けた取組を紹介するとともに、各校において取組を行った。基準年度と比較し、小学校5年生は0.7%増加、中学校2年生は1.4%増加、高校2年生は0.7%増加している。	
計画期間全体の評価	小学校5年生：○ 中学校2年生：▼ 高校2年生：▼	新計画における指標の扱い 継続

今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい食習慣及び生活習慣と関連付けながら取り組む運動習慣の形成に向けた学校等の環境づくりを支援する。 ・各種研修会等により指導者の指導力向上を図るとともに、家庭や地域と連携した取組や保護者への啓発による、適度な運動習慣、望ましい食習慣、基本的な生活習慣の形成・定着にむけた取組を推進する。
担当課等	保健体育課

主要指標 II-1 食の安全安心に関する出前講座等の実施回数

◎:目標値達成、○:概ね達成
△:基準時と変化なし、▼:基準時より悪化

基準年度(H26)	141回※
目標年度 (R2)	150回

計画期間全体の評価：4か年で達成「◎」のため「○」

年度	H28	H29	H30	R1	R2
実績	193	167	166	152	48
目標	150	150	150	150	150
達成度	◎	◎	◎	◎	▼

R2実績の評価	出前講座の実施について、ホームページやチラシ、通知等を通じて、市町村、関係団体等に対し積極的に周知に努めたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、出前講座の依頼が大幅に減少し、目標を達成できなかった。	
計画期間 全体の評価	○	新計画における 指標の扱い 継続
今後の方向性	引き続き広く県民に周知を行い、食品の安全性確保に関する理解の促進等のため、出前講座の実施に取り組む。	
担当課等	県民くらしの安全課	

※H21～H26年度の平均。なお、H23年度は東日本大震災津波の影響により実施回数が減少したことから除く。

主要指標 Ⅲ-1 地産地消促進計画を策定している市町村の数

◎:目標値達成、○:基準時より改善 △:基準時と変化なし、▼:基準時より悪化
計画期間全体の評価：最終年度の達成度

基準年度(H26)	13市町村
目標年度 (R2)	25市町村

年度	H28	H29	H30	R1	R2
実績	20	24	27	29	31
目標	25	25	25	25	25
達成度	○	○	◎	◎	◎

R2実績の評価	県内の計画未策定市町村を訪問するなど働きかけを行った結果、3件の策定報告があった。	
計画期間 全体の評価	◎	新計画における 指標の扱い 継続
今後の方向性	計画未策定市町村を訪問して説明・要請を行うなど、引き続き地産地消促進計画の策定（更新）促進に取り組む。	
担当課等	流通課	

主要指標 IV-1 市町村食育推進計画を策定している市町村の割合

◎:目標値達成、○:基準時より改善
△:基準時と変化なし、▼:基準時より悪化

計画期間全体の評価：最終年度の達成度

基準年度(H26)	93.9%
目標年度 (R2)	100%

年度	H28	H29	H30	R1	R2
実績	97.0%	97.0%	100%	100%	100%
目標	100%	100%	100%	100%	100%
達成度	○	○	◎	◎	◎

R2実績の評価	全ての市町村で策定された。	
計画期間		新計画における指標の扱い
全体の評価	◎	継続
今後の方向性	県内各市町村に対して、食育推進計画の更新を促進するとともに、研修会の開催等により策定への支援を行う。	
担当課等	県民くらしの安全課	

I 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

参考指標 I-1 3歳児のむし歯のある者の割合

年度	基準年度(H25)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	24.3%	22.4%	—	18.7%	—	集計中
R2実績の説明	現在集計中。					
今後の方向性	乳幼児及びその保護者を対象とした歯と口の健康教室、イベント等に取り組む。					
新計画における指標の扱い	継続			担当課等	健康国保課	

参考指標 I-2 12歳児の（永久歯）むし歯のある者の割合

年度	基準年度(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	32.1%	32.9%	—	39.0%	—	27.5%
R2実績の説明	むし歯のある者の割合は減少傾向					
今後の方向性	児童・生徒及びその保護者を対象とした歯と口の健康教室、イベント等に取り組む。					
新計画における指標の扱い	入替			担当課等	健康国保課	

参考指標 I-3 60歳代における咀嚼良好者の割合

年度	基準年度(H24)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	71.6%	72.4%	—	—	—	—
R2実績の説明	次回はR3年度に評価予定。					
今後の方向性	成人を対象とした歯と口の健康教室、イベント等に取り組む。					
新計画における指標の扱い	継続			担当課等	健康国保課	

参考指標 I-4 食に関する指導の全体計画作成校

年度		基準年度(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	小学校	99.1%	99.1%	100%	100%	100%	100%
	中学校	94.0%	95.1%	100%	100%	99.4%	99.3%
	高校	20.8%	39.5%	47.4%	52.0%	52.6%	53.3%
R2実績の説明		食育推進研修会等における周知等により、小・中学校においてはほぼ100%となっている。					
今後の方向性		引き続き、研修会等で食に関する指導の在り方について取り上げる、全体計画例を紹介する等により、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援する。					
新計画における指標の扱い			継続		担当課等	保健体育課	

参考指標 I-5 肥満防止取組実施状況

年度		基準年度(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	小学校	98.5%	98.8%	100%	100%	99.7%	99.7%
	中学校	75.0%	93.3%	95.7%	97.5%	93.0%	94.7%
	高校	48.1%	94.7%	94.7%	87.5%	79.3%	88.9%
R2実績の説明		高校における取組状況の割合が、9.6%増加している。					
今後の方向性		引き続き、研修会等で肥満予防の取組について取り上げる、指導資料の周知を図る等により、学校における肥満予防の取組を支援する。					
新計画における指標の扱い			継続		担当課等	保健体育課	

参考指標 I-6 教育振興運動の実践区による食育活動数

年度	基準年度(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	155実践区	191	185	167	186	143
R2実績の説明	県内500実践区中186実践区で食育推進活動を実施した。					
今後の方向性	教育振興運動推進に係る研修会を通じ、啓発を行う。 ※全県1回(6/1)、各教育事務所管内(地域の実態に応じて)					
新計画における指標の扱い	継続		担当課等		生涯学習文化財課	

参考指標 I-7 主食・主菜・副菜をほとんど毎日揃えて食べる者の割合(20歳以上)

年度	基準年度(H24)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	68.8%	63.4%	—	—	—	—
R2実績の説明	次回はR3年度に評価予定。					
今後の方向性	新しい生活様式に応じた健全な食生活の実践を支援するため、管理栄養士、栄養士、保健師及び養護教諭等を対象とした「健康的な食事推進マスター」の養成により、地域における取組体制の充実を図る。					
新計画における指標の扱い	継続		担当課等		健康国保課	

参考指標 I-8 食塩摂取量の平均値(20歳以上)

年度	基準年度(H24)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	11.8g	10.0g	—	—	—	—
R2実績の説明	次回はR3年度に評価予定。					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「いわて減塩・適塩の日」を中心とした啓発を行う。 ・参考指標1-7と併せて取り組む。 					
新計画における指標の扱い	継続			担当課等	健康国保課	

参考指標 I-9 毎日最低一食は家族や友人などと一緒に30分以上かけて食事をしている者の割合(20歳以上)

年度	基準年度(H24)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	65.3%	63.4%	—	—	—	—
R2実績の説明	次回はR3年度に評価予定。					
今後の方向性	新しい生活様式に応じた健全な食生活の実践を支援するため、管理栄養士、栄養士、保健師及び養護教諭等を対象とした「健康的な食事推進マスター」の養成により、地域における取組体制の充実を図る。					
新計画における指標の扱い	継続			担当課等	健康国保課	

参考指標 I-10 栄養成分表示店店舗数

年度	基準年度(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	126店舗	187店舗	226店舗	261店舗	275店舗	288店舗
R2実績の説明	実新規登録は31店舗あったが廃業等により前年比13店舗増。基準年以降は162店舗増加。					
今後の方向性	バランスのとれた食生活を実践しやすい環境を整備するため、引き続き登録店の拡大を進める					
新計画における指標の扱い	入替			担当課等	健康国保課	

Ⅱ 食の安全安心を支える食育の推進

参考指標 Ⅱ-1 食の安全安心に関するリスクコミュニケーション開催回数

年度	基準年度(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	4回	5回	4回	4回	5回	4回
R2実績の説明	食品表示、食中毒、食品安全及び健康食品をテーマに5回(うち、対話を重視した20～30人程度の講座を3回)実施し、食品の安全性確保に関する理解の促進を図った。					
今後の方向性	食中毒、残留農薬及び健康食品等をテーマに4回(うち、対話を重視した20～30人程度の講座を3回)開催する。					
新計画における指標の扱い	入替		担当課等		県民くらしの安全課	

Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

参考指標 Ⅲ-1 農林漁業体験インストラクター等の実施支援

年度	基準年度(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	140件	113件	102件	108件	132件	96件
	15,130人	20,873人	24,140人	20,859人	25,304人	9,230人
R2実績の説明	農林漁業体験インストラクター等の派遣・紹介や、体験学習、関係施設の見学等の受入などの支援を実施。					
今後の方向性	農林漁業体験インストラクター等の派遣・紹介や、体験学習、関係施設の見学等の受入などの支援を実施(計画件数約120件、計画人数約14,000人)。					
新計画における指標の扱い	継続		担当課等		農林水産企画室	

参考指標 III-2 学校給食における県産食材の利用割合及び、国産食材の利用割合(食材数ベース)※

年度		基準年度(H26)	H28	H29	H30	R1	R2	
実績	県産食材	38.5%	21.7%	36.6%	27.8%	23.2%	調査中止	
	国産食材	87.5%	75.5%	84.5%	77.3%	85.9%	調査中止	
R2実績の説明		国の第4次食育推進基本計画(R3～R7)の策定に伴い、調査が行われなかった。						
今後の方向性		引き続き、研修会等を通じて、県産食材や国産食材を取り入れた学校給食を教材とした食に関する指導を推進する。						
新計画における指標の扱い		－			担当課等			保健体育課
※ 県内の学校をランダムに5施設抽出し、年2回(各5日間)実施する調査								

参考指標 III-3 給食施設での県産食材利用率(重量ベース)※

年度	基準年度(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	42.0%	58.6%	—	61.0%	—	調査中
R2実績の説明	2年に1回の調査となっており、次回はR2の実績について、R3.12月頃にとりまとめの見込み					
今後の方向性	ホームページ等による旬の食材のPR等を通じた県産食材の情報提供や、栄養職員等を対象とした研修等の実施により、引き続き県産食材の利用促進に取り組む。					
新計画における指標の扱い、	継続			担当課等		流通課

※ 県内の給食施設で、2年に1回(毎月の1週間)給食に利用した食材の全量に占める県産食材の割合を調査するもの。

参考指標 III-4 食の匠認定数(累計)及び、伝承活動開催回数

年度		基準年度(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	認定数	246人	259人	267人	273人	277人	286人
	活動回数	33回	30回	23回	37回	30回	16回
R2実績の説明		令和2年度、新たに9名を認定した。県内各地で食の匠による郷土料理の伝承会などを開催し、魅力ある岩手の食文化を伝承・発信した(延べ16回)。					
今後の方向性		引き続き、岩手県食の匠による食文化伝承会の開催やネットワーク活動の支援するとともに、情報発信に取り組む。また、食の匠の技を次世代に継承するために、継続的に後継者育成に取り組む。					
新計画における指標の扱い		継続		担当課等		農業普及技術課	

参考指標 III-5 3R推進キャラクターエコロルの普及啓発活動数

年度	基準年度(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	38回	33回	34回	34回	32回	6回
R2実績の説明						
・エコロルによる普及啓発活動は、エコシヨップいわて認定証交付式やポスターコンクール表彰式などへの出席により3Rの周知を図った。 ・食べ残しの抑制については、食品ロス削減月間(10月)と年末年始に「もったいない・いわて☆食べきりキャンペーン」を実施し、適量注文等の呼びかけを行った。また、「もったいない・いわて☆食べきり協力店」の周知を図った。 ・「いわてごみゼロ・3Rポスターコンクール」に「食品ロス削減部門」を新設し、特別賞(食品ロス削減部門)を選出・表彰した。						
今後の方向性						
・新聞、バス広告及びホームページ等による啓発を通じて、3Rの推進に取り組む。 ・引き続き「もったいない・いわて☆食べきりキャンペーン」や「もったいない・いわて☆食べきり協力店」の周知を行う。 ・「いわてごみゼロ・3Rポスターコンクール」の入賞作品を展示し、県民への意識啓発を行う。						
新計画における指標の扱い		継続		担当課等		資源循環推進課

IV 地域に根ざした食育の推進

参考指標 IV-1 食育の取組を行っている市町村の割合

年度	基準年度(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	100%	100%	100%	100%	100%	100%
R2実績の説明	新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行いながら、工夫を凝らした様々な取組(保育所や学校給食への地場産品の取入れ、食育講演会や食育教室の開催、栄養教室等)が実施されている。					
今後の方向性	岩手県食育取組事例集の活用、市町村食育業務担当職員研修会での事例発表等により、地域に根ざした食育の取組を促す。					
新計画における指標の扱い	継続			担当課等	県民くらしの安全課	

参考指標 IV-2 食育普及啓発キャンペーン実施回数

年度	基準年度(H26)	H28	H29	H30	R1	R2
実績	5回	5回	5回	5回	5回	0回
R2実績の説明	新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、令和2年度の実施は中止した。					
今後の方向性	11月に県内の保育所等にキャンペーンを行い、食育の重要性を普及啓発する。 ※ただし、新型コロナウイルス感染症に係る情勢の変化により、事業内容等を見直す予定。					
新計画における指標の扱い	継続			担当課等	県民くらしの安全課	

岩手県食育推進計画に関する指標の状況（令和３年度～令和７年度）

I 主要指標の状況

主要指標は前計画と変更がないため、資料4-1、資料4-2に同じ

II 参考指標の状況（前計画からの継続分を除く）

I 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

参考指標	基準年度 (R1)	今後の方向性
10 健康的な食事推進マスターの養成 人数	205 人	「健康的な食事推進マスター」を養成し、家庭における健全な食生活及び生涯を通じた食習慣の形成をサポートする。

II 食の安全安心を支える食育の推進

参考指標	基準年度 (R1)	今後の方向性
2 食の安全安心に関する講座型リスクコミュニケーションの延べ受講者数	80 人	アンケート結果等から参加者の関心が高いテーマを選定のうえ開催する。

Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

参考指標	基準年度 (R1)	今後の方向性
6 学校給食における 県産食材の利用割合 (食材数ベース) 国産食材の利用割合 (食材数ベース)	県産 23.2% 国産 85.9%	研修会等を通じて、県産食材や国産食材を取り入れた学校給食を教材とした食に関する指導を推進する。 【指標の変更について資料1のとおり】

【指標の変更について】

文部科学省が例年行っている地場産物利用の抽出調査（食材数ベース）結果を指標としていたが、本調査は令和2年度は調査中止となり、令和3年度からは調査廃止されることが決定した。
令和2年度には、文部科学省により、新たに令和元年度分の金額ベースの調査が実施され、令和3年度からの5年間は継続的に実施されることから、学校給食における県産食材と国産食材の使用割合の指標については、食材数ベースから金額ベースの指標に変更する。

Ⅳ 地域に根ざした食育の推進

参考指標	基準年度 (H30)	今後の方向性
3 子ども食堂など子ども の居場所づくり に組み込む市町村数	16 市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂等の子どもの居場所づくりに取り組む市町村を支援する。 ・新規開設や既存施設の機能強化に要する経費の一部補助を行う。